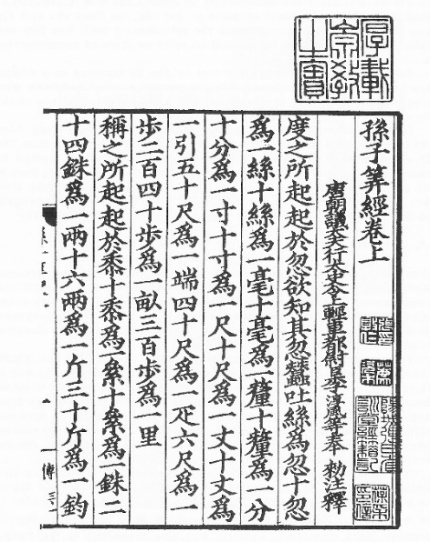
中国の算術に挑戦だ！

[](https://www.google.co.jp/url?sa=i&url=https%3A%2F%2Fja.wikipedia.org%2Fwiki%2F%25E5%25AD%25AB%25E5%25AD%2590%25E7%25AE%2597%25E7%25B5%258C&psig=AOvVaw3TDZ7YLR7w_74BHoOwsdK9&ust=1597812489064000&source=images&cd=vfe&ved=0CAIQjRxqFwoTCOCjucD5o-sCFQAAAAAdAAAAABAD)クラス（　　　）番号（　　　）氏名（　　　　　　　　　　　　　）

みなさんは、一次方程式や連立方程式の歴史を知っていますか？　現存している最古のものとしては、「」という算術書が中国にあるそうです。

そんな中国の算術書に、これから学習する連立方程式にまつわる面白い問題を見つけました。その問題は、「」という算術書に記載されている問題です。「」とは、中国が南北朝時代に書かれた算術書であり、唐の時代に編修された算経十書の一つ。上巻・中巻・下巻の３部構成の書物になっており、日本の鶴亀算のもととなった問題が掲載されています。方程式を利用して解決してみよう！

課題１　中国の算術書「」に挑戦してみよう！

　　　　　　　　　　　左の問題を読み解き、答えを求めなさい。

　　　　　　　　　　　【漢字の読み方ヒント】

　　　　　　　　　　　　雉（キジ）　兎（ウサギ）　籠（カゴ）

　　　　　　　　　　　☆分かっている数量は、何ですか？

　　　　　　　　　　　☆何を*x*としますか？

【式】

答

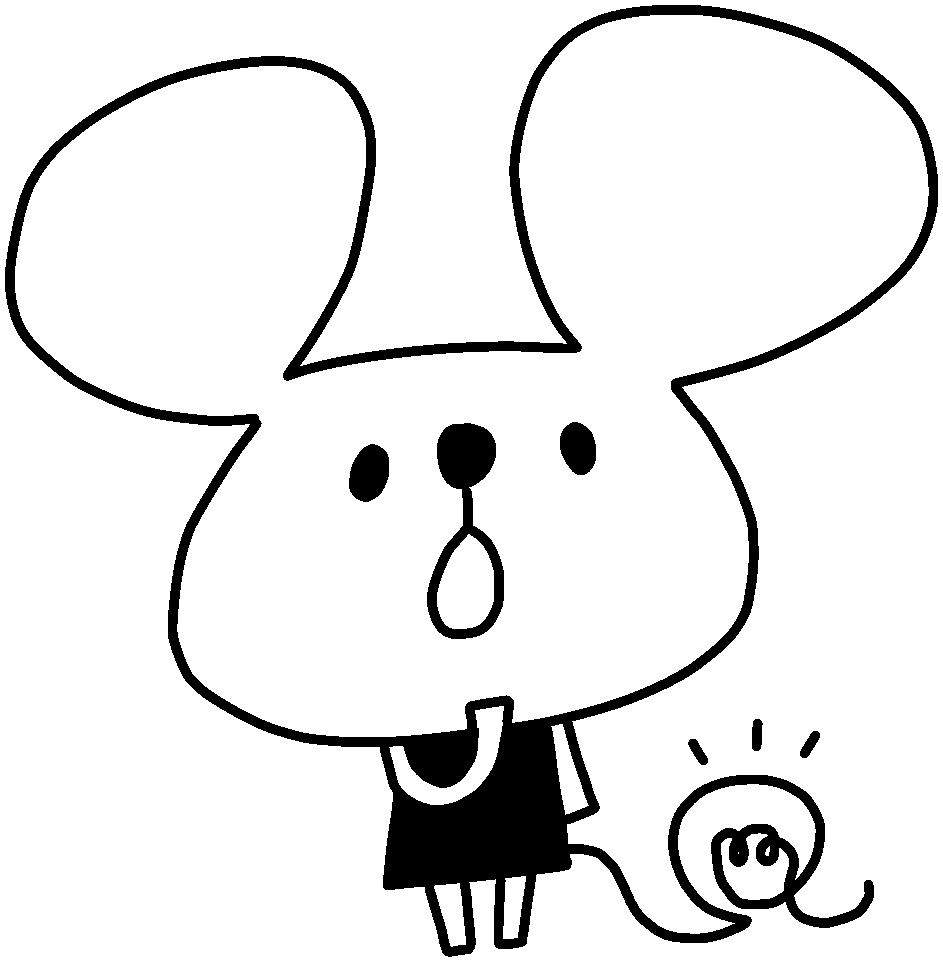
頭35で…キジの足は２本だから…

今有雉兎同籠

上有三十五頭

下有九十四足

問雉兎各幾可



一次方程式を用いて解くことができるね。

キジの数を*ｘ*羽にすると…



みなさんどうでしたか？　昔の人も、日常の具体的な場面から問題を作成し、数学の学習に取り組んでいたことがよくわかりますね。では、もう一問！上の問題が解決できたあなたならきっと解決できるはず！

課題２　Ａさんは，１本30円と１本50円の鉛筆を合わせて30本買って、1260円払ったそうです。30円と50円の鉛筆を、それぞれ何本買ったのでしょう。

【式】

答

どの問題も、一次方程式で解決できる問題ですが、これから学習する連立方程式を使うともっと簡単に解決できるようになります。これからの学習が楽しみですね。